

大きくはばたけ！<3月19日(木)卒業式>

空は青く、春を思わせる穏やかな日差しが降り注ぐこの日、十四山東部小学校第73回卒業式が行われ、6年生33名が本校を巣立ちました。ほとんど練習ができない中での卒業式でしたが、例年と比べても見劣りのしない、立派な卒業式ができました。式では、「夢や希望」を堂々と発表し、「弱点の克服(卒業)」を宣言し、「感謝の気持ち」を保護者に伝えることができました。全体での呼びかけや合唱も気持ちの伝わるものになりました。また、在校生の代表として参加した3名の5年生もしっかりとした立ち居振る舞いことができました。異例づくめの卒業式でしたが、無事終わることができてほっとしています。ほとんどの子どもたちが十四山中学校に進みますが、「素直さ」という十東小の子どもたちの良さを伸ばしつつ、「積極性」や「表現力」を高め、ひと回りもふた回りも成長してくれることを期待しています。大きくはばたけ！十東小の子どもたち！！



「優柔不断」な自分から卒業します。

書店員になって、人気の本屋さんになりたいです。

弁護士になって、自分の力で多くの人を助けたいです。

「朝寝坊」の自分から卒業します。

中学校行ったら、目標としている人に近づけるように部活も勉強も頑張ります。

「人に流される」自分から卒業します。

プロのバスケットボール選手になって、Bリーグで活躍します。

「好き嫌いの多い」自分から卒業します。

一回やり始めたことは、絶対あきらめません。

英語を勉強して、世界で活躍できる人になりたいです。

